

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 石丸教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7		手すりが必要な箇所の見直しを行う
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		日々のミーティングを大事にしている。（情報共有・意見交換・振り返り）	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		支援終了後、時間が確保できないことがあるため、翌日朝礼にて共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	8			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	6			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	4	1		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	4	1		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	1	5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	1	1		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	8			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	6			
保護者へ の説明責 任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	8			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	2	2		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7	1	毎月お便りを作成し、イベン トやイベント報告等共有して いる	
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		地震・水害・火災などの避難訓練を行っている。また防災センターでの活動も行っている	現在行っている訓練に加え、職員のみでの訓練・見直しを行う
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			